

2021年4月1日

「サイクルイベント」における新型コロナウイルス対策

いまだに新型コロナウイルスが収まっていない中、感染予防対策をしっかりと実施しての大会開催となります。我々、主催者、スタッフは万全の感染予防対策を実施したいと思いますが、大会にご参加いただく皆様にもご協力いただき、予防に努めてまいりたいと思います。

以下、コロナ感染予防も含め開催者、参加者が遵守すべき内容を明記しましたので熟読いただき、各自実施していただけますようお願いいたします。

1. 受付時

- ・ イベント当日に疑感染者は自己申告のうえ辞退。(37.5℃以上、味覚、臭覚異常者、2週間以内の疑濃厚接触者)
- ・ イベント当日の検温にて37.5℃以上の参加者は強制取りやめ。
- ・ イベント開始時、休憩時、昼食時、到着時毎のアルコール消毒の実施。(アルコールは開催者が用意。アルコールアレルギー等の事前確認)
- ・ 不織布マスクの携帯。スタート時、休憩時、食事時等、走行中以外は着用の義務。(不織布マスクは開催者側もある程度数準備する)

2. イベント実施時

- ・ 受付はソーシャルディスタンスを保ち、不織布マスク着用はもちろん、手のアルコール消毒を必ず実施。
- ・ 参加者はスタートまで不織布マスクを着用。
- ・ 大声は出さない。
- ・ 個人の荷物は原則預からない。
- ・ エイドステーションでは不織布マスクの着用、アルコール消毒を徹底する。
- ・ 補給食はあらかじめ一人分をビニールの袋に小分けしておく。飲料はペットボトルや缶を一人ひとり配布する。

3. 走行中

走行時は風の流れもあり、密になることもあまりないためあまり神経質になる必要もありませんが、医療機関に負担をかけないためには、コロナ感染だけではなく、事故、怪我には十分注意をしてください。

- ・ 走行時は、不織布以外のマスクも含め着用の義務は問わない。しかし、不織布マスクを携帯し、休息、食事等走行時以外は不織布マスクを着用する。
- ・ 市街地等、一般歩行者の多いところではマスク着用指示もありうる。
- ・ スタート、信号等停止時は自転車一台分(約2m)の間隔をあける。

- 走行時は自転車2台分（約5m）の間隔をあける。
- 走行時は前走者の飛沫を避けるため真後ろを走行しない。前走者の後をハンドル一つ分右もしくは左を走行する。但し並走は厳禁。
- タオルを携帯し、汗、鼻等をこまめにふき取る。
- 声掛けはなるべく短く。先頭のリーダー、前走者のハンドサインをしっかりと見て後方者にしっかりとハンドサインで伝達する。

4. 休憩、食事、宿泊時

- 不織布マスクを着用し、飲食時やマスクを外しての会話は控える。
- ソーシャルディスタンスを保つ。
- 各施設の感染対策ルールに従う。

多人数でイベントを実施する場合、コロナ禍に限らず、周りの一般市民からの評価（見る目）はあまり高くありません。ましてやコロナ禍においては一層風当たりが強いと感じます。そういう周りからの目もあることを忘れず、相手の立場に立って個人が物事を考え、行動をして楽しい大会にしてください。